

くまがわ・明日の川づくり報告会 VOL.16

開催地：五木村頭地地区

平成 19 年 8 月 3 日（金）、五木村頭地地区（会場：五木村伝統文化伝承館）において、「くまがわ・明日の川づくり報告会」が開催されました。

同報告会には、約 43 名の方々にお集まり頂き、球磨川水系河川整備基本方針の内容や小委員会等での審議の状況についてご報告いたしました。

質疑の際には、下記のとおりご意見等をいただきました。

参加者数※

村内	43 名
村外	0 名

※参加者数は記名者数

住民の方々から頂いた主なご意見・ご質問

【河川整備基本方針の説明について】

- ・計画高水流量 4, 0 0 0 m³/s は、小委員会の委員の方は、ほとんどが賛成だったのか。
- ・五木村では、過去に川辺川ダムの基本計画に対する賛成、反対で村が二つに分かれて対立した。その基本計画と今回の基本方針とはどう違うのか。
- ・基本方針では川辺川ダムがどうなるかは、わからないということか。
- ・基本方針では川辺川ダムがはっきりしないということを、住民に対し説明の初めに伝えておくべき。
- ・今回の話は下流に対する説明である。五木村に対する説明として考えて欲しい。
- ・五木村には、基本方針の説明は必要ない。

【球磨川の治水対策について】

- ・五木村は熊本県民、球磨川流域の皆さんの生命財産を守るということで、川辺川ダムに賛成した。
- ・川辺川ダムは利水関係も発電関係も外れて、あとは治水だけになっている。国土交通省は勇気を持ってどんどんつくっていくこと。

【その他】

- ・五木村はダムを前提として、移転し犠牲になっている。そして人口が激減している。いろんな面で計り知れない損害を受けている。
- ・五木村には、残っている事業がたくさんある。そういう説明をしてもらいたい。
- ・特に最近、ダム反対派の声が相当大きくなってきている。

※ ご発言をそのまま掲載するのではなく、趣旨を変えない程度にまとめさせて頂いています。

※ ご質問への回答については、アンケートで寄せられたご質問への回答と合わせて、後日 HP に掲載させていただきます。